

社協

なめがわ

第 10 号

平成 6 年 8 月 10 日 発行

編集発行

社会福祉法人

滑川町社会福祉協議会

滑川町大字羽尾2440-1

(滑川町コミュニティセンター内)

TEL 56-6345



『暑い中ごくろうさま』

町の高齢者事業団による
町道の清掃作業

町の高齢者事業団も発足以来一年余りが経過し、会員も83名となりました。仕事も順調に進んでいるようですが、それぞれ希望する職種があるため、依頼に対し、作業員の派遣に苦労しているようです。

この時期一番多いのが草とり草刈りのようですが、会員の皆さんは、真夏の太陽が照りつけるなか一生懸命頑張っています。

今回は、町道の刈払い作業のかたづけに精を出す会員の皆さんをスナップさせていただきました。

平成6年度の事業概要 事業計画と予算

滑川町社会福祉協議会の平成6年度事業計画及び一般会計予算、特別会計予算は三月二十九日の理事会、評議員会で承認されました。

本年度は、次の基本方針に基づき福祉事業の推進を図ってまいります。

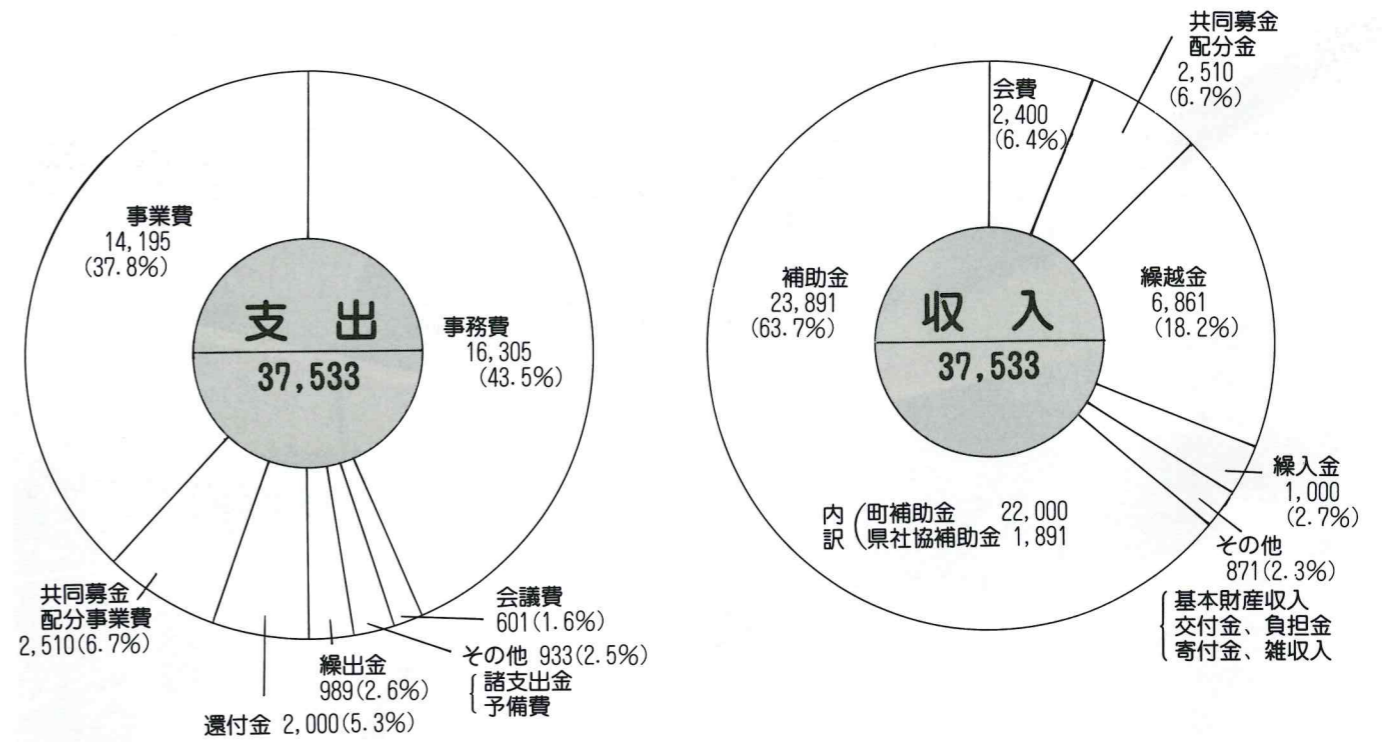
基本方針

人口の高齢化が急速に進み、社会、文化、経済の動向が大きく変化してきている中で、町民のみなさんの福祉に対する期待と要望は、ますます大きく、多様化してきています。

滑川町社会福祉協議会では、それらの社会的動向及び福祉ニーズに的確に対応するため、滑川町の福祉の将来像を展望しつつ、住民のみなさんの主体的な参加を得て、地域福祉の充実のため積極的に活動を展開するものとする。

平成6年度社協一般会計予算

(単位 千円)



(単位：千円)

会計区分	予算額
心配ごと相談所	346
福祉資金	994
福祉基金	7,700
退職手当積立基金	790

事業別計画

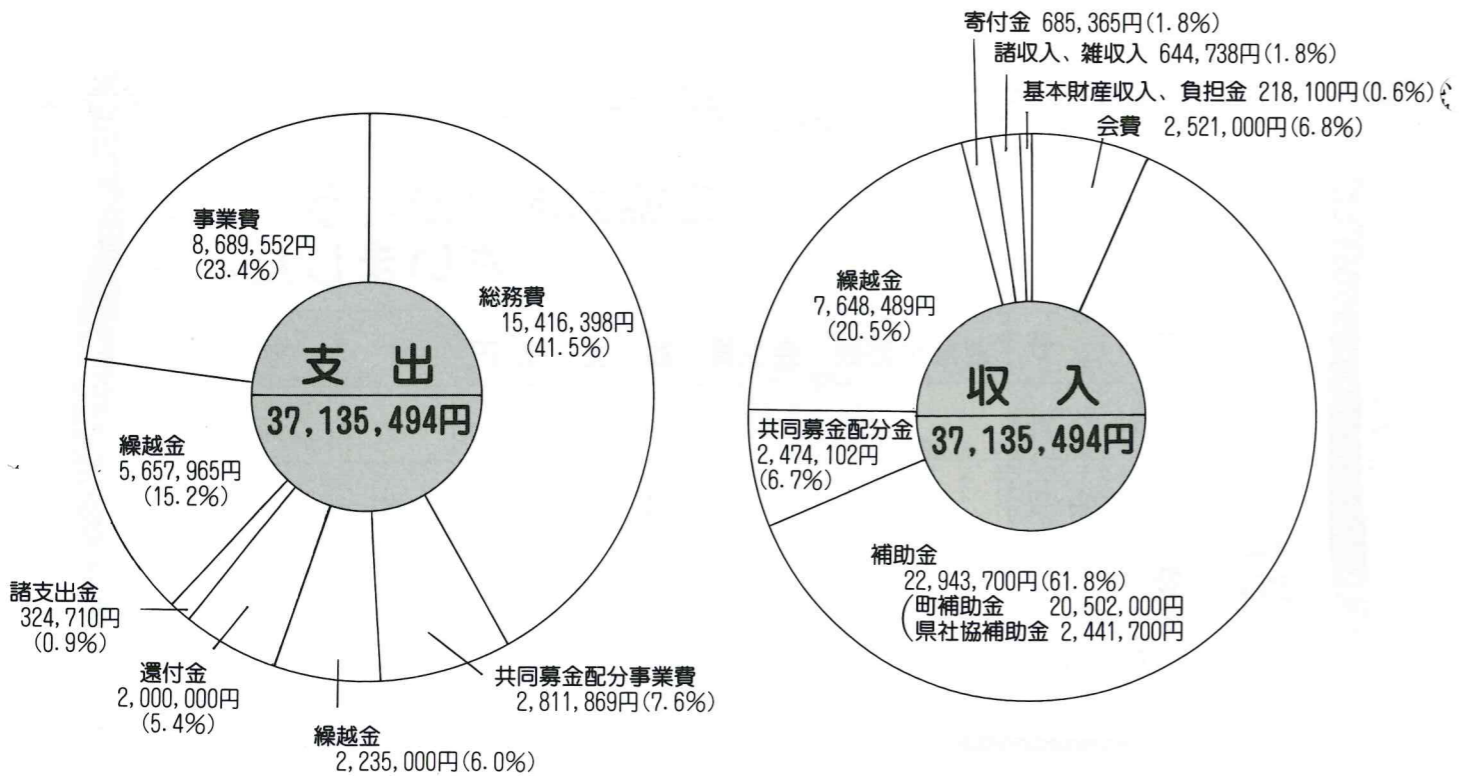
- ▼社協運営
 - ・理事会の開催
 - ・評議員会の開催
 - ・監事会の開催
- ▼組織の強化と基盤整備の促進
 - ・未加入者の加入促進
 - ・賛助・特別会員の加入促進

社協の書面の動き

- ▼母子福祉対策
 - ・母子福祉会諸事業の助成
- ▼低所得者福祉対策
 - ・生活福祉資金の貸付
 - ・福祉資金の貸付
- ▼募金活動
 - ・共同募金
 - ・歳末たすけあい募金
 - ・共同募金配分金による福祉団体の助成
- ▼戦没者遺族福祉対策
 - ・戦没者追悼式の実施
 - ・遺族会諸事業の助長及助成
- ▼相談事業対策
 - ・心配ごと相談所の開設
 - ・相談員研修会等への参加
- ▼地域対策
 - ・地域ふれあい事業の推進
 - ・近隣たすけあい活動の推進
- ▼団体事務局
 - ・老人クラブ連合会
 - ・母子福祉会
 - ・手をつなぐ親の会
 - ・遺族会
 - ・赤十字奉仕団
 - ・ボランティアセンター
- ▼老人福祉対策
 - ・敬老会開催事業
 - ・単身老人・ねたきり老人介護者保養旅行
 - ・単身老人会食及び給食サービス事業
 - ・介護者手当支給事業
 - ・(65才以上のねたきり老人及び心身障害児者を介護している方)
 - ・ゲートボール大会
 - ・ふれあいの旅実施
 - ・対象(福祉4団体)
- ▼児童福祉対策
 - ・社会福祉協力校に対する助成
 - ・子どもまつりに対する助成
 - ・小学校新入学児童への記念品贈呈
- ▼心身障害児(者)福祉対策
 - ・福祉タクシー制度の推進
 - ・心身障害児者との連絡調整
 - ・心身障害児者福祉団体助成
- ▼調査研究・広報活動
 - ・福祉関係資料の調査・研究・普及
 - ・優良先進地の視察研修の実施
 - ・社協だより発行
 - ・諸事業のP・R随時実施
- ▼ボランティア活動の振興
 - ・ボランティア会員加入促進
 - ・ボランティアの育成及び活動推進

平成5年度社協一般会計決算

(単位 円)



あたたかい善意に感謝

平成5年7月から平成6年6月までに、企業並びに町民の皆様から福祉向上のため寄せられた善意は、次のとおりです。
皆様のご厚意に対し厚くお礼申し上げます。

(敬称略)

寄付者名	金額(円)	寄付者名	金額(円)
埼玉土建比企西部支部 滑川分会	5,000 15,000	福 田 ・ 小野田 よ し	5,100
羽 尾 ・ 上 野 百合子	46,000	滑川友の会・小 林 義 昭	100,000
羽尾一区彼岸やぐら 実行委員会	50,000	東松山遊技場組合・赤沼三芳	150,000
滑 川 中 学 校 生 徒 会	40,000	羽 尾 ・ 稲 葉 香 津	10,000
滑 川 町 農 業 委 員 会	8,900	お 食 事 処 福	10,000
東松山ロータリークラブ	100,000	月 夜 輪 宮 島 博 銭 泣 き 地 蔵 の 賽	180
山 田 ・ 関 口 庸 備	3,000	ネ ス ウ ッ ド (株)	85,600
羽 尾 ・ 小笠原 弥 一	30,000	羽 尾 一 区	40,930
水 房 ・ 中 村 正 平	16,000	福 田 ・ 浜 島 は る	雑布 50枚
福 田 ・ 石 川 ふ み	10,000	土 塩 ・ 贅 田 春 吉	車イス 2台
福 田 ・ 小野田 塩 作	6,750	福 田 ・ 小 林 義 昭	もち米 15kg

育てよう ゆたかなこころと 思いやり

平成6年度会員募集

社会福祉協議会(社協)は、町民の皆様方の積極的なご協力に支えられて、福祉活動に取り組む、住民主体の民間団体です。そして、その活動は、皆様の会費によって支えられています。昨年度は、皆様の深いご理解により、下表のような結果を得ることができました。深く感謝申し上げます。

本年も「育てよう ゆたかな心と 思いやり」をスローガンに、「心のふれあいを大切にした地域福祉」をめざして、町民の皆様のご参加と協力を求め、地域福祉活動を推進するため、福祉委員(区長)さんをはじめ地区役員のご協力をいただき会員募集を行っております。

福祉向上のため、より多くの皆様のご加入をお願い申し上げます。又、賛助会員、特別会員への加入も重ねてお願い申し上げます。

年会費
。一般会員 一、〇〇〇円
。各世帯 一、〇〇〇円
。賛助会員 一口三、〇〇〇円
。特別会員 一口五、〇〇〇円

平成5年度会費実績表

ご協力ありがとうございました。

区 分	対象世帯数	会 員 数	金 額(円)	加 入 率
一般会計	2,958	2,109	2,109,000	71.3%
賛助会費	—	104	312,000	—
特別会費	—	20	100,000	—
合 計	2,958	2,233	2,521,000	—



7月1日(金)、土塩運動場に於いて、滑川町社会福祉協議会・滑川町老人クラブ連合会の主催による第15回滑川町老人ゲートボール大会が滑川町国民健康保険の協賛により25チーム総勢180名が参加して行われました。

ゲートボール大会 上山田Aチーム優勝

この大会は予選リーグと決勝トーナメント方式により行われ各チームとも予選リーグから気迫のこもったプレーを展開。その結果、6チームが決勝トーナメントに進出し、優勝をめざし熱戦が繰り広げられました。

決勝戦では上山田Aが14対13で和泉Aを破り優勝しました。優勝 上山田Aチーム
準優勝 和泉Aチーム
3位 羽一Bチーム
また、当日は赤十字奉仕団による湯茶のサービスに、お年寄りの方も大変喜び、喝いたのどを潤していました。

▲ 優勝めざして頑張って

ボランティアセンター

短歌

小久保清香

共に見るまぶしいほどの地平
貴重な体験押す車椅子

健康者我が身に感謝今日の日
を介護手助け出来る幸せ

車椅子 ぎこちないけどしっ
かりと押して研修たのしい笑顔
障害者の介助に参加して

野口 かつ

ボランティアとして、何が出
来るだろうか、心細く、ちゅ
うちよしていましたが、思いき
って参加しました。ドレミの歌
にのって障害の手足を動かし瞳
を輝かせている様子を見てい
ると、どのような立場の人でも幸
福で生きがいのある生活を送る
権利があり、それは、福祉にた
ずさわっている人達をはじめ、
私達ボランティアのサポートに
より、実現しうるものではない
かと実感しました。これからも
障害者の立場になって、少しま
も役に立つ事を実践してゆきた
いと思います。
車椅子に 目線あわせて
花の下

ボランティアセンターができ
て一年がたちました。
需給調整がなかなかうまくい
かず、毎日が思案の連続ですが
ボランティアの皆さんの協力で
何とか運営しています。これか
らは、充実したセンターの運営
を目指して努力してゆきたいと
思います。
そこで、今回は、今までの活
動の中から、感想をお寄せいた
だきました。皆様のご理解、ご
協力で、親しみのあるセンター
になるようよろしくお願いいた
します。

ボランティアを通して 学んだこと

益子 吉子

末娘も中学生になり、少し時
間にゆとりができたので、ボラ
ンティアの会に入会しました。
森林園でレクリエーション・
入浴介護等のお手伝いをさせて
いただいていたのですが、今回は
バスで遠くへ出かけるというの
で、自分の車酔いなど含めて、
少し不安が有りました。
義母や父の入院の折、車椅子
は、院内の平らな場所でも何度も
使用した事が有りましたが、実
際日常の場でお手伝いしたのは、
初めてでした。

研修旅行に参加して

団原みつ江

まぶしい程の春の陽ざしの日
すばらしい出会いと、貴重な体
験をしました。
身障者の人達の研修旅行の介
助の手伝いを要請された時、は
たして、車椅子をうまく押せる
だろうかと不安な気持ちで参加し
ました。いざ押してみると初め
は重くて、フラフラときこちな
かったけれど、最後はうまくと
は言えないけれど無事に終わり
ホッとしています。身体に障害

階段を数段乗れば良い場所も
スロープにすると、かなり長い
距離だったり、どうしても見た
い展示品など、健康者なら、少
し体を傾めにして割り込めば、
前の方で見られる物も車椅子だ
と人の少ない場所などでないと
良く見られません。またお土産
も手に取って、ゆっくり見たい
る場所や時間のゆとりが、有り
ません。今回参加させていただ
き、私はあらためて私達には、
何気ない行動でも身障者の方
には、とても大変な事だとい
ことを考えさせられました。

これからも私にお手伝い出来
る事が有りましたら、お役に立
ちたいと思います。



葛西臨海公園にて ハイポーズ



臨海公園から東京湾を眺む



(ソフトクリームを頬張りながら)
ボランティアさんと一緒に

があるという事は、健康者にと
って何でもない事でも、例えば
一歩歩くことでも、時間がわか
ると言う事が分かったことでも
勉強になりました。だから介助
者は素早く読み取り、その人に
取ってどんな介助が、必要かを
見きわめて行動する事だと思
います。
すべてに手を貸すことがベス
トではない事とします。年に
数少ない旅行だと聞いています
が、皆さんがとても楽しく一日
を過ごせる事ができた様で良か
ったと思います。次回は、車椅
子に乗った感想や、どうしたら

乗り心地の良い押し方等をお聞
きしてより努力したいと思いま
す。もし一緒にバスに乗らな
かったら、行政バスはもっと車椅
子の入る巾の広いもの、トイレ
をつけたら……一緒に参加した
町長に要望も言えなかったかも
知れないので、少しは広い視野
で物が見えるようになったかも
と、プラス志向に考えたい。
どこかで車椅子の人がいたら、
スッと手を出して車椅子を押す
ことが当然の事と思えるくら
しが地域の中で育っていけば、誰
もが安心して暮らせる社会にな
ると思っています。

配食サービスを

実施

七月二十八日(木)、65才以上の
単身老人の方を対象に、配食サ
ビスを実施しました。
当日は、ボランティアの皆さ
んの手作りのお弁当を夕食とし
て、23名の希望者にとまどサー
ビスさんの協力でお届けしまし
た。



▲ 時間に間に合うかしら

あなたにもできる 収集ボランティア

書きまちがい

官製ハガキ

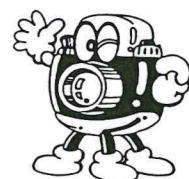
お手元にまだつかっていない
年賀状や暑中見舞い等の書きま
ちがいが官製ハガキがありました
らご寄付下さい。
ボランティア事業費に使わせ
ていただきます。
ご協力いただいた方は、社協
だよりで紹介させていただきます
ので、ご協力いただく際に住
所、氏名、電話番号を書いて下
さい。

- コミュニティセンター 2階
社協事務局内 ボランティアセ
ンターまでお願いします。
平成五年度中ご協力いただ
いた方は次のとおりです。
ご協力に感謝申し上げます。
- 羽尾 岡田 寅様 57枚
 - 福田 栗原千乃様 5枚
 - 羽尾 加藤静江様 50枚
 - 山田 矢島 章様 100枚
 - 匿名 59枚

▼ 作り終って(ホットひと息)



身障福祉会研修会スナップ





長寿を祝い

敬老会開催

社会福祉協議会では、本年も町内在住の満七十五歳以上のお年寄りを松寿荘にお招きし長寿をお祝いするとともに益々の健康を祈念し敬老会を開催します。

該当者には、地区の民生委員さんを通じて案内申し上げます。

日時

。平成六年九月二十八日(水)

水房・中尾・羽一・羽二・

羽三・森林園

。平成六年九月二十九日(木)

和泉・伊古・月輪・六軒

。平成六年九月三十日(金)

下福田・上福田・山田・土塩

金婚夫婦を

お祝いします



今年も、敬老会において、金婚夫婦をお祝いいたします。該当する方は、町の社会福祉協議会までご連絡下さい。

対象となる方

。昭和19年1月1日～昭和19年12月31日の間に婚因し、今年で結婚50年を迎えるご夫婦。また、50年を経過してこ

れまでにまだお祝いを受けていないご夫婦。

。原則として、町内に一年以上居住していること。

※ご連絡いただいた方については事務局で確認したのち該当者には追って連絡します。

。締め切り 平成6年9月5日(月)まで。

会員のみ受給できます

介護者手当支給事業

会員の家庭で身体上又は精神上の障害のため日常生活に著しい支障のある老人及び障害者を介護している者に支給する事業です。

支給要件としては、

- 1、疾病、障害等により介護を要する状態が六ヶ月以上継続している老人等を自宅で介護していること。
- 2、常時他の介護がなければ食事ができない。
- 3、常時おむつ又は携帯用便器を使用していること。
- 4、三ヶ月以上継続して入院し

ている者の介護は対象になりません。

。支給については所得制限はありませんが、社会福祉協議会の会員でないとは受給できません。

申請

町の社会福祉協議会に申請用紙がありますので、該当する方は、民生委員さんを通じて申請の続きをお願いいたします。申請に基づき調査の上、追って通知します。手当は月額一、〇〇〇円で支給月は九月・三月です。

社協では、毎月二回心配ごと相談所を開設しています。

心配ごと相談所



なにかこまっていることがあったらお気軽においで下さい

い。みんなと話しをするだけでも気持ちが晴れるかもしれません。皆さんの悩みが少しでも解消できるよう、民生、児童委員さんが親身になって相談に応じております。

どんなことでも結構です。お気軽にご利用下さい。

開設日 毎月8日と18日
時間 午後1時から4時
場所 コミュニティセンター
内談話室

相談は秘密を守り無料です。

車イス無料貸与



通院や自宅療養での介護等で一時的に車イスを必要とする場合、或いは、車イスを購入される方で購入までの期間、二ヶ月を限度に無料貸出しを行っております。

利用を希望される方は、社協備付けの申込み書によりお願いいたします。

申込みには印鑑が必要です。

編集後記

例年より早く梅雨が明け、暑い夏がやってきました。

会員の皆さんも健康管理を十分にして、夏バテしないで厳しい暑さをのりきって下さい。

さて、社協、なめがわ第10号をお届けします。

暇をみつけて、目を通してみて下さい。

新しい発見ができるかも？

今後ご指導、ご協力をお願いいたします。